

令和2年度版 改善計画

学校名：山梨県立日川高等学校

No.	項目	現状と課題	R3年度に目指すべき状態	①R2年度に実施する内容 ②R3年度に向けて検討する内容	達成状況
1	会議等の効率化	【現状】年間28回の「きずなの日」には会議を原則的に入れず、職員会議はペーパーレスで実施している。 【課題】会議回数や時間、参加者数等の縮減。	・「きずなの日」が設定されていない週も、会議のない日を設ける。 ・職員会議以外の会議のペーパーレス化に取り組む。	①検討事項が少ない会議等については、回覧形式を取り入れたり、他会議と同日開催にしたりして、会議のスリム化を進めていく。 ②資料のペーパーレス化につとめ、準備や会議時間を短縮していく。	
2	学校行事の負担軽減	【現状】新型コロナウイルスの関係で、行事を大幅に縮減している。 【課題】様々な行事が行えないことに対する生徒のケア。	・昨年度と今年度の行事をカリキュラムマネジメントの視点からバランス良く配置していく。	①行事の必要性を検証し、新設・継続すべき行事と削除可能な行事に振り分け検討していく。 ②週休日の行事を削減すると共に、やむを得ず週休日に行事を行う場合は、代休日を設定する。	
3	校内組織の見直し	【現状】教員定数減のため、分掌を1つ、文化部を2つ統合・削減した。 【課題】部活動の副顧問は複数の部を兼任。	・分掌の統合や部活動の精選や顧問配置の工夫等により、職員数に応じた校内体制を構築する。	①「企画会議」で、学校の課題を積極的に検討していく。 ②分掌等の再編整備を引き続き検討していく。とくに部活動については、部員数の推移等を見ながら、将来的に存続が難しい部を想定しておく。	
4	業務の効率化	【現状】職員会議のペーパーレス化やClassiを活用した集計等により、効率化が進んでいる。 【課題】部活動再開後の先生方の退校時間。	・ICT機器を活用することで教材を共有する等して教員間の協働性を高め、平日は遅くも20時を目処に最終退校できるようにする。	①会議資料のペーパーレス化を一層進め、印刷・配布・回収等に掛かる労力を削減する。また、面談等を通じ職員の勤務状況や要望を管理職が把握する。 ②デジタル教材を積極的に活用・共有し、教材作成等に掛かる時間を短縮する。	
5	部活動の負担軽減	【現状】学校全体に部活を頑張る空気があるが、「きずなの日」は部活動を休む日として定着している。 【課題】生徒の平日の最終下校時刻19時が不徹底。	・「きずなの日」の部休に加え、オフシーズンの土日の片方を休む。 ・短時間で効率的な練習を心がけ、生徒及び顧問の時間を確保していく。	①本校の合い言葉である4時間勉強2時間練習を目標に、活動にメリハリを付け、試合期以外は6時半活動終了を心がけ、生徒の最終下校時刻19時を徹底していく。 ②「きずなの日」だけでなく毎週月曜日は部活動を休む。	
6	地域人材の活用	【現状】保護者や同窓会、地域の人材・施設を活用し、協力が得られている。 【課題】SSH関連事業における連絡調整等。	・保護者や同窓会、地域の人材・施設を有効に活用し、職員の負担を軽減していく。	①保護者や同窓会、地域の人々と引き続き連携し、協力しやすい雰囲気を作っていく。 ②SSH関連事業における連絡調整が、係分掌や担任・部顧問の過重負担にならないよう、管理職が関わっていく。	
7	ICTの積極活用	【現状】職員会議のペーパーレス化に取り組んでいる。 【課題】授業時の教室における校内無線LAN整備。	・様々な状況を想定してYouTubeによる教材開発やTeamsによる連絡体制を確保していく。	①新型コロナウイルス感染防止のために、ICT機器を活用した学習支援体制を整備していく。 ②将来の校内無線LANの整備を念頭に、まずは教員がICTを使いこなせるように研修を積む。	

※達成状況：次のA～Dで評価し、各年度末に県立学校は県教育委員会へ、公立小中学校は市町村（組合）教育委員会へ提出する。

A 達成できた B ある程度は達成できた C あまり達成できなかった D 達成できなかった

※様式は、必要な項目が含まれていれば、適宜、変更して使用して差し支えないこと。